

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、１９～２３℃台を示し、平年並みでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、カタクチイワシが１日１統当たり０．５トンの水揚げで、前週の７％（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが１日１統当たり０．８トンの水揚げ（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが１日１統当たり２０トンの水揚げで、前週の１．３倍（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、１日１統当たり９kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり１３０kgの水揚げで、前週の１３％（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、１日１統当たり１９kgの水揚げで、前週の４２％（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり１１４kgの水揚げで、前週の１８％（前年を下回った）。五島奈留地区では、１日１統当たり７kgの水揚げで、前週の３５％（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが１日１統当たり５２４kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが１日１統当たり３７２kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが１日１統当たり２９９kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが１日当たり１３２kgの水揚げで、前週の４４％（前年を下回った）。野母地区では、マアジが１日１統当たり２０kgの水揚げで、前週の１．３倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（５／２１～５／２４の４日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、アカイカ漁、北太平洋出漁中。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、２日延９隻、総計１０１箱、１航海最高２０箱、平均１１．２箱。スルメイカ（２０～３０入）１００箱、ケンサキイカ（入合わせ）１箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>